

ようこそ高田西中学校へ

校長 岡田潤一

【地域の概要】

大和高田市は、奈良県の北西、奈良盆地のほぼ南西部に位置している。南西から西にかけて、金剛・葛城・二上山が峯を連ね、はるか南方には吉野群山を望むことができる。東方には歴史のふるさと大和三山もうつくしい山容を見せており、まだまだ静かな田園情緒を残している。日本書紀にすでに名があらわれるほどで、古代・中世と諸豪族等により統治され、近世に入って諸大名による支配を経て近代に入った。1888年に高田町が発足、木綿業及び付属産業の伝統を受けて、近代的機械を導入した紡績工場が建設され、次いで大正時代には、ゴム・鉛などの工業も興り、昭和に入ると繊維・メリヤス・靴下製造などで活況を呈し、中和の商都として発展してきた。そして、1948年には戦後いち早く市制がひかれた。

本校は、大和高田市の西部にあり、総じて田園地帯の様相を示している。産業としては、農業・靴下製造業・繊維加工業・プラスチック関係工業などがある。

開校33年目の学校で、地域の学校に対する関心は極めて高く、「おらが学校」という意識が強い地域である。

【ごあいさつ】

ふたかみ山が色鮮やかになり、春爛漫の良い時期になりました。

4月10日(月)の入学式で136名の1年生を迎え、2年生175名、3年生169名、全校生徒480名で平成29年度がスタートしました。入学式では、担任の呼名に元気な返事で応え、どの生徒も緊張感の中にも中学校生活への期待と意欲が伺えました。

高田西中は、前年までの取り組みを受け継ぎ、今年度もさらなる充実を図って参ります。学校教育目標として「自他の人権・命を大切にし、自分の考え方・生き方を確立していける生徒の育成」を掲げ、知性と感性に富み、健やかでたくましい生徒を育成することを目標としています。

また、本校の校訓を生活信条として定め、「自主的に学習し、行動しよう」・「誠実に生きよう」・「友愛に燃えよう」・「奉仕の精神を培おう」を大切にして取り組んでいます。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。